
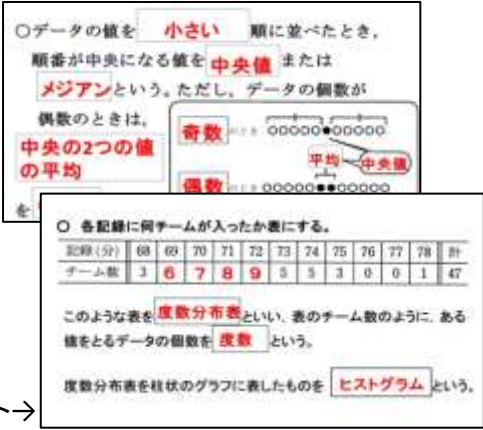


「教材・教具説明書」

高等部

数学 I データの分析 ワークシート 補充プリント

教材・教具名	数学 I 第4章 データの分析 ・ワークシート, パワーポイント, 補充プリント																										
対象生徒	1年																										
教材教具写真	<p style="text-align: center;">↓ワークシート</p>  <p style="text-align: center;">パワーポイント→</p>  <p>○データの値を、小さい 順に並べたとき、 順番が中央になる値を 中央値 または メジアン という。ただし、データの個数が 偶数のときは、 中央の2つの値の平均 を 平均 (中央値) とする。</p> <p>○ 各記録に何チームが入ったか表にする。</p> <table border="1" data-bbox="938 656 1353 705"> <thead> <tr> <th>記録(分)</th> <th>68</th> <th>69</th> <th>70</th> <th>71</th> <th>72</th> <th>73</th> <th>74</th> <th>75</th> <th>76</th> <th>77</th> <th>78</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>チーム数</td> <td>3</td> <td>6</td> <td>7</td> <td>8</td> <td>9</td> <td>5</td> <td>5</td> <td>3</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>47</td> </tr> </tbody> </table> <p>このような表を 度数分布表 といい、表のチーム数のように、ある値をとるデータの個数を 度数 という。 度数分布表を柱状のグラフに表したものを ヒストグラム という。</p>	記録(分)	68	69	70	71	72	73	74	75	76	77	78	計	チーム数	3	6	7	8	9	5	5	3	0	0	1	47
記録(分)	68	69	70	71	72	73	74	75	76	77	78	計															
チーム数	3	6	7	8	9	5	5	3	0	0	1	47															
作製・制作のねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシートについては、書く時間を短縮できるように、穴埋め形式にしている。 ・パワーポイントについては、教師の板書の時間をなくすことで、ワークシートへの記入や考える時間を多くとれるように作成している。 ・補充プリントについては、授業の復習や課題(宿題)となるように作成している。 																										
作り方	<p>新 高校の数学 I (数研出版) 授業用プリントを参考に作成。現在担当している生徒の実態を考慮して穴埋めを増やしたり、学習内容を精選したりして作成している。</p>																										
教材教具の効果	<ul style="list-style-type: none"> ・パワーポイントを用いて、学習の振り返りやまとめ、前時の復習ができる。 ・欠席した生徒に対して、同じ内容の授業が短時間でできる。 ・補充プリントを小テストや課題(宿題)にすることで、定着度を見ることができる。 																										
今後の課題・改善点	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒の実態が毎年変わるので、生徒の実態に応じて内容を変えている。指導内容によって、パワーポイントを用いるようにしている。今後の課題としては、教材を準備する時間がもっとほしい。 																										